

# グリッドエッジ利活用支援サービス(仮称)

～DR市場対応クラウドシステム、AI空調制御による省エネ実現～

参考出展

## こんなお悩みありませんか？

デジタル技術を活用することで、新たなビジネス・サービスの創出が期待されていますが、新規市場参入や高度な設備運用の確立には、現場の設備状況やコスト面など多くの課題が発生しています。



※ Demand Response : エネルギーリソース保有者または第三者が、エネルギーリソースを制御し、電力需給を調整すること。

## 富士通によるデジタル革新支援

### DR市場対応のクラウドシステム構築・サポート

- 1 OpenADRモジュール※や豊富なクラウドPaaS機能を活用することで、インシャルコストを抑えたDR市場対応システムを構築し、市場参入をトータルサポート

### 現場の古い機器はそのままだ、AIによる運用高度化

- 2 現場の旧式設備やベンダー差分を、Virtuora MXによりデジタル化・共通インターフェース化することで、サイバー空間上の統合管理やAIによる運用高度化を実現

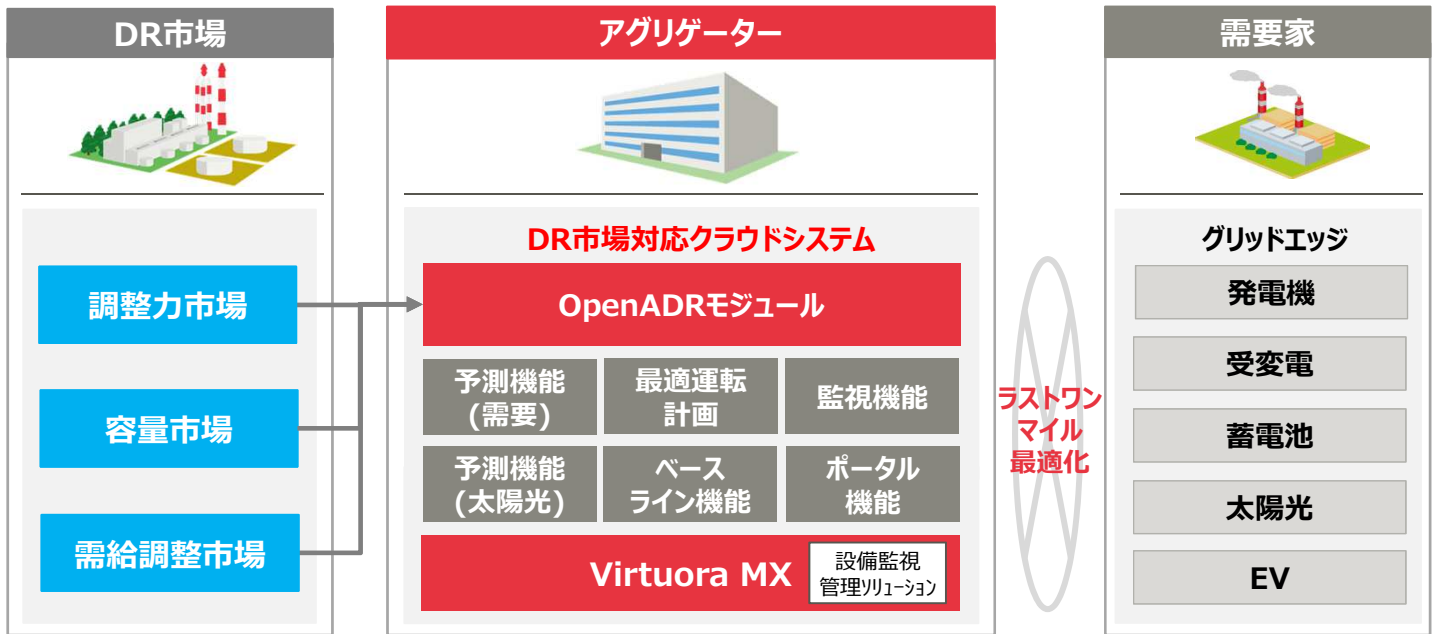
### サービス・現場に応じた最適ネットワークを設計・構築

- 3 現場の様々な機器に対し、収集データトラフィックや通信距離、接続台数などを考慮することで、多様な通信規格の整合性を図り、最適なラストワンマイルを提供

※ FUJITSU Network OpenADR VTN/VEN モジュール V01 : <https://www.fujitsu.com/jp/solutions/business-technology/intelligent-society/sensor-network/solutions/openadr/>

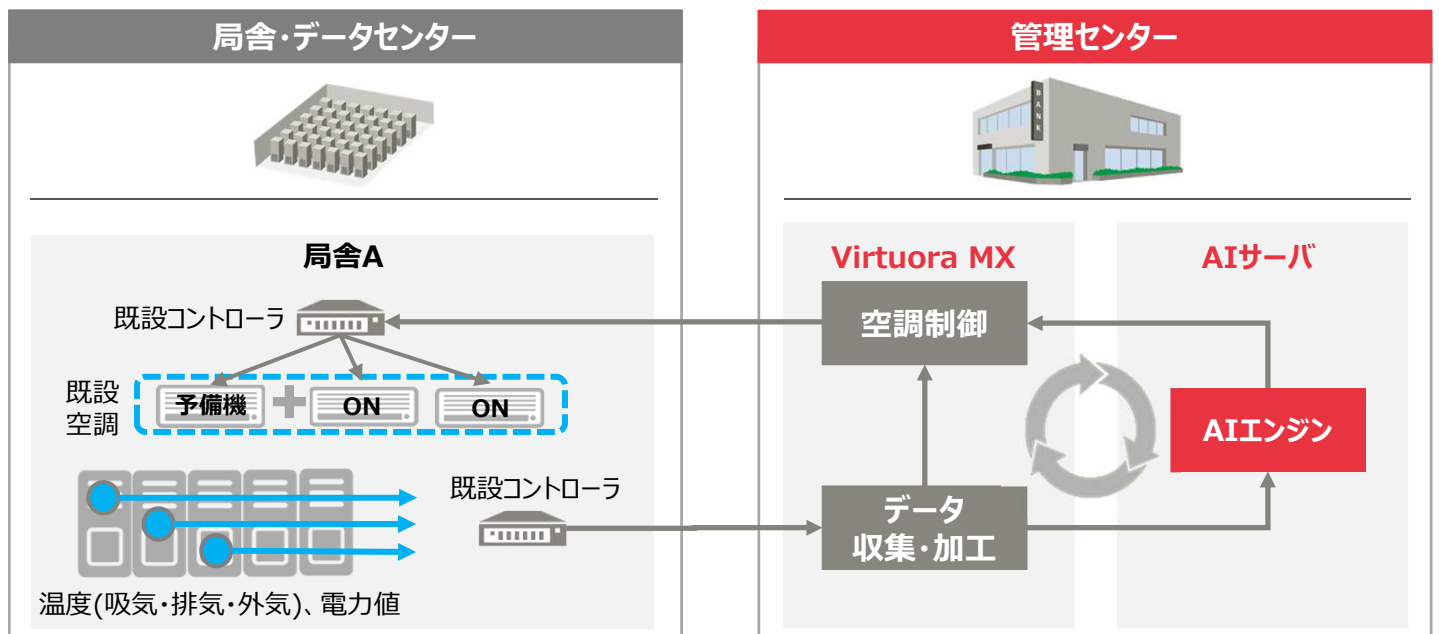
## DR市場対応クラウドシステム構築・サポート

- 電力会社からの要請に応じ、電力需給調整を達成する事で、インセンティブ獲得が可能な調整力市場や、開設予定の新規市場向けシステム構築を富士通がトータルサポートし、既存設備を活用した新規ビジネスを実現
  - OpenADRモジュールによる簡易指令システム連携
  - ベースライン計算・ダッシュボードによるイベント管理や電力使用状況、達成率管理



## 【適用事例】AI空調制御による省エネ実現

- 機器の高発熱化により電気代が増加している局舎・データセンター内の空調稼働状況を診断し、空調制御による省エネ効果を測定。既存設備(旧式空調機)はそのままに、Virtuora MXを用いてデジタル化し、AI空調自動制御により、電気代を削減
  - STEP1. 現地調査・空調診断 (温度・省エネ)
  - STEP2. シミュレーション・効果試算
  - STEP3. 局舎改善コンサルティング/システム導入
  - STEP4. 定期的な調査・分析・改善および適用拡大



富士通株式会社

社会システム営業本部 エネルギー第一営業統括部 ビジネスイノベーション推進部  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター

E-mail: [fj-energy-promo@dl.jp.fujitsu.com](mailto:fj-energy-promo@dl.jp.fujitsu.com)

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/business-technology/intelligent-society/sensor-network/>